



## 第12回 ヤングリーグ広島大会 大会要項

連盟承認番号 29-13

一般社団法人 全日本少年硬式野球連盟広島支部  
NPO法人 府中広島'2000 代表 松尾 真人

開催日 平成29年 5月13日(土)、14日(日)、予備日20日(土)

会場 瀬野川公園野球場  
(広島県広島市安芸区上瀬野町 TEL 082-894-3210)

白竜湖スポーツ村公園野球場  
(広島県三原市大和町和木1026-3 TEL 082-824-2433)

旧広島県立久井高校グラウンド  
(広島県三原市久井町羽倉264 )

府中広島'2000専用グラウンド  
(広島県東広島市安芸津町風早1098-148)

主催 一般社団法人 全日本少年硬式野球連盟 広島支部 NPO法人 府中広島'2000

後援 一般社団法人 全日本少年硬式野球連盟  
日刊スポーツ新聞社西日本

参加チーム ヤングリーグ加盟 中学部 14チーム  
(広島県 6チーム、岡山県 3チーム、山口県 3チーム、愛媛県 1チーム、福岡県1チーム)  
シニアリーグ加盟 中学部 2チーム  
(広島県 2チーム)

試合方式 トーナメント方式

受付 平成29年 5月13日(土) 8時10分

瀬野川公園野球場  
(広島県広島市安芸区上瀬野町 TEL 082-894-3210)

開会式 平成29年 5月13日(土) 8時45分～

- ・チーム旗&プラカードは各チームで忘れないよう持参して下さい。
- ・選手の入場行進は、アップシューズで行います。
- ・雨天時は、瀬野川公園体育館で行います。屋内シューズを持参してください。

## 第12回 ヤングリーグ広島大会 大会規定

- 1 チームの登録選手は11名以上25名以内とする。(試合開始前に11名に満たない場合は出場を禁止する。)
- 2 選手は全員各連盟指定の傷害保険に加盟しなければならない。
- 3 チーム旗及びブラカードは各連盟指定の物とし大会等には必ず持参すること。
- 4 大会出場は登録選手に限り、背番号は必ず登録された番号とする。変更は認めない。
- 5 監督(背番号80) コーチ(背番号70)は選手と同じユニホームを着用する事。総監督をおく場合も同様は(背番号90)とする。但し、ベンチ入りは監督不在の場合に限る。指導者証を必ず携帯すること。(ヤングリーグ所属チームに適用し、他リーグ所属チームは、所属リーグの規定による。)
- 6 登録選手及び登録された監督・コーチ2名・スコアラーのみベンチに入ることが出来る。
- 7 監督、コーチ、選手はユニホームの左袖に連盟指定マークを付けなければならない。又、スコアラーは選手と同じ帽子を着用すること。(ヤングリーグ所属チームに適用し、他リーグ所属チームは、所属リーグの規定による。)
- 8 監督・コーチ・スコアラー等不在の場合(細則参照)(ヤングリーグ所属チームに適用し、他リーグ所属チームは、所属リーグの規定による。)
  - (1)監督・コーチ(総監督)が不在の場合は速やかに連盟本部(大会本部)に申請書を提出し、その事情を認めた時は代理監督に許可する。その場合、代理である事の証明とメンバー表に明記する。(指導者カード要)
  - (2)スコアラーはあくまでスコアラーであり不在の場合は本部に申請し代理を認める。(指導者カードが必要)
  - (3)チーム代表(副代表含む)は監督・コーチ・スコアラーになれない。
- 9 捕手は必ずユニホームの下に規定の防具を試合及び練習を問わず着用すること。
- 10 外国人選手及び女子選手の出場を認め人数制限はしない。
- 11 ヘルメットは1チーム7個以上同色完全なものを備えること(但しボールボーイ用として2個準備すること)。
- 12 組合せの若番号が1塁側、後番号が3塁側ベンチに入る。
- 13 メンバー表交換時(5部)に両キャプテンにより先攻：後攻をジャンケンで決める。メンバー表交換には、チーム指導者(監督・コーチ・スコアラーいずれか)、大会本部役員、審判員が立ち合い投球回数制限・可能回数を確認する。
- 14 グラウンドの都合で本規定とは別に設定されている場合はそれに従うこと。
- 15 大会第2日目の試合前のシートノックは原則として両チーム5分(後攻から)行なう。ただし、進行時間等により中止することもある。
- 16 メガホンを使用するのは、指導者のみとし、ベンチ持込は3個までとする。
- 17 監督、コーチが選手にアドバイスをする時はファールラインのところで行う。
- 18 監督が投手に指示を与える目的をもってタイムを要求する場合直接、間接を問わず1イニング2回目には自動的に投手交代となる。その投手は、他の守備位置につくことはできるが、同一イニングでは再び投手として登板することはできない。但し、新しいイニングに入れば登板することが出来る。
- 19 試合中、攻撃側選手に不慮の事故が起き、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判員が判断した時は、臨時の代走者を許可する。この代走者は投手と捕手を除いた選手のうち、打撃の完了した直後の者とする。
- 20 審判に対して限度を超える侮辱、暴力とみなす行為が認められた場合、審判員は即刻退場を求めることが出来る。ベンチ外【応援団席・観客】から同様の場合も球場責任者が審判員と相談し退席を求めることが出来る。
- 21 試合開始予定時間の60分前までに到着すること。いかなる理由であれ試合開始時間にチームが球場に到着なき時には球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言する事ができる。
- 22 雷雲、雷鳴が発生した場合には球場責任者、審判員の判断で、すみやかに選手を避難させること。
- 23 試合方式
  - (1) 試合は、時間無制限で7回戦を行い、4回終了をもって正式試合とする。7回終了後、同点の場合は1回のタイブレークを行う。それでも決着がつかない場合は最終出場者において抽選決勝とする。但し、準決勝戦及び決勝戦に限り勝負が決まるまでタイブレークゲームを継続する。  
タイブレークは、最終回終了時の引き続きの打順で一死走者満塁にてゲームをスタートする。
  - (2) 4回終了時(後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は4回表終了時)10点、5回以降7点差の場合コールドゲームとする。
  - (3) 日没、降雨、その他で試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01【注】により勝敗を決する。試合成立前(4回終了迄)に上記理由で試合続行が不可能になった場合はノーゲームとする。
  - (4) 試合の進行をスピーディにする為に、監督・コーチの指示伝達は1試合(7回)で守備・攻撃のタイムを各2回迄とする。延長戦・タイブレークに入った場合には1イニングに1回とする。細則参照(タイム回数)注1) 野手(捕手含む)が2名以上マウンドに行った場合は1回の計測をする。  
注2) 捕手は、投手のもとへ行くのは1試合、3回迄として、投手交代・延長戦・タイブレークは各1回とする。  
【注】投手の連投は、日本中学硬式野球協議会制定の「投手の投球回数制限統一ガイドラインに基づく」(日没、降雨、その他試合続行が不可能となった場合含む)
  - 1) 投手は1日7イニング以内とする。ただし、端数回数(0/3回 1/3回 2/3回)は切り上げ1回とする。端数回数0/3回は、一死もとらずに降板した場合を示す。
  - 2) 連続する2日間で10イニング以内とする。ただし、端数回数(0/3回 1/3回 2/3回)は切り上げ1回とする。端数回数0/3回は、一死もとらずに降板した場合を示す。
  - 3) 同日複数試合に登板した投手及び連続する2日間で合計5イニングを超えた投手(5イニング可)は、当該試合制限回数から翌日の試合まで投手または捕手として試合に出場することは出来ない。
  - 4) 連続3試合を投げた投手は当該試合制限回数から翌日の試合まで投手または捕手として試合に出場することは出来ない。
  - 5) 投球回数記録表様式1は毎試合、様式2は1日終了時点で責任審判員を經由し球場本部に提出する。